

番号	5	
① プロジェクト名称	街の達人発掘・発展学習プロジェクト	
② プロジェクトメンバー(代表のみ)		
基礎教育部 修学基礎教育課程	金光 秀和	代表
③ 参加学生数(報告時点)		
学部 1～3 年次生	研究室所属学生 (大学院生含む)	外部参加者数
7 名	3 名	8 名
④ 活動報告 (これまでの活動、年度末のまでの活動予定、活動における課題等について書いてください。フォントは 9～11pt 以内。行間は適宜。写真や図も O.K)		

●街の達人調査隊VOL. 1 ミュージアムツアー in Kanazawa の実施

平成 28 年 6 月 11 日(土)に金沢の文化施設を巡り、地域の文化や偉人について見聞を広げ、達人調査することを目的として、街の達人調査隊VOL. 1 ミュージアムツアー in Kanazawa を実施した。午前は「金沢ふるさと偉人館」を訪れ、学芸員の増山仁氏の解説を聴きながら館内を巡った。参加した 10 名の学生達は増山氏の解説に熱心にメモを取りながら聞き入り、金沢の偉人の活躍について興味深く知ることができた。午後は、①鈴木大拙館をめぐるコース、②産業工芸館をめぐるコース、③ロックの殿堂ミュージアムジャパン・金沢蓄音機館をめぐるコースに分かれて調査を実施した。今回参加した学生は全員が石川県外出身であり、このツアーによって金沢の偉人・達人の情報を収集し見聞を広げることができたのはもちろん、特に1年生にとっては金沢の街を散策する良いきっかけにもなったようである。



●特別講演会の実施

教員が企画して達人の話聞く特別講演会として、株式会社シェヘラザード代表取締役の坂本祐央子氏をお招きして、「ファシリテーターの達人に聞く『質問力』の極意」を5月16日(月)に実施した。この講演会は「人間と哲学」の授業の一環として実施したものであったが、授業を履修していな



い学生や外部からの参加者も参加して質問力の極意について興味深く学ぶことができた。講演会後に実施したアンケート(回答数 42)でも、達人の話が「とても役に立ちそう」、「役に立ちそう」とした回答が全体の 95%を占めた。後学期も継続して、特別講演会を実施する予定である。

●季刊誌『達人』2016 年 夏号の刊行

前述の街の達人調査隊VOL. 1の調査をもとに、3 名の学生が金沢の偉人についてさらに調査をして、それを紹介する記事を執筆した。その記事と特別講演会の様子を中心に、季刊誌『達人』2016 年 夏号を刊行した。自分が興味をもって見たり、聞いたりしたことを改めて他人に伝えるには、グループワークなどとは別のコミュニケーション力が必要となる。このプロジェクトでは、企画力や発信力を含めた広いコミュニケーション能力の涵養を目指しており、執筆した学生たちにとってそれらを身につける良い機会になったと思われる。

●今後の課題と予定

後学期も達人調査隊や季刊誌『達人』の刊行、また特別講演会の実施を予定している。ただ、講演会への参加者も含めるとプロジェクトへの参加学生数は多いが、実際に達人の発掘にかかわるコアメンバーは10人に満たない。後学期は、再度プロジェクトへの勧誘告知を行い、場合によっては他のプロジェクトとも連携を図りながら運営を行ってきたい。